



東芝レンジフードファン取付説明書

形名 **VFR-64FJPA**タイプ、**VFR-74FJPA**タイプ、**VFR-94FJPA**タイプ

- このレンジフードファンの注意事項をよく知っていただき、正しく取り付けていただくために、この取付説明書をよくお読みください。
- この取付説明書は工事完了後、お客様にお渡しください。
- 別売部品をご利用ください。(詳しくは、カタログをごらんください。)



安全上のご注意

- 取り付けの前に、この「安全上のご注意」をよくお読みのうえ正しく取り付けてください。
- ここに示した注意事項は、安全に関する重大な内容を記載していますので必ず守ってください。
- 表示と、意味は次のようになっています。

表 示	表示の意味
 警告	誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示します。
 注意	誤った取り扱いをすると、人が傷害を負ったり、*物的損害の発生が想定される内容を示します。









* 物的損害とは家屋・家財および家畜・ペットにかかわる拡大損害を示します。

図記号の例






図記号	図記号の意味
 改造禁止	⊘は、禁止(してはいけないこと)を示します。 具体的な禁止内容は、⊘の中や、近くに文章や絵で示します。 左図の場合は「改造禁止」を示します。
 アースを接続する	●は、強制(必ずすること)を示します。 具体的な強制内容は、●の中や、近くに文章や絵で示します。 左図の場合は「アースを接続する」を示します。

- 取付工事完了後、試運転を行い異常がないことを確認するとともに、取扱説明書にそってお客様に使用方法、お手入れの仕方を説明してください。また、この取付説明書は、取扱説明書と共にお客様で保管いただくように依頼してください。

⚠ 警告

 改造禁止	改造はしないこと 火災・感電・けがの原因になります。
 分解・修理禁止	修理技術者以外の方は分解、修理(※)をしないこと 火災・感電・けがの原因になります。 ※修理は、お買上げの販売店または東芝家電修理ご相談センターにご連絡ください。
 アースを接続する	アースは、確実に取りつけること 故障や漏電したとき、火災・感電の原因になります。アースの取り付けは、販売店や電気工事店を通じ、電気工事士へ依頼してください。
 接触禁止	メタルラス張り、ワイヤラス張り、または金属板張りの木造の造営物に、金属製ダクトが貫通する場合や本体を取り付ける場合、金属製ダクトや本体とメタルラス、ワイヤラス、金属板とが電氣的に接触しないように取り付けてください。 漏電したとき、火災・感電の原因になります。
 取付禁止	内釜式風呂を設置した住宅には取り付けないこと 排気ガスが室内に逆流し、一酸化炭素中毒を起こす原因になります。
 給気を確実に	自然排気型ストーブがある部屋に据えつけるときは、ドアなどに空気取り入れ口をつけること 排気ガスが室内に逆流し、一酸化炭素中毒を起こす原因になります。
 交流100V使用	電源は交流100Vを使うこと 交流100V以外の電源を使うと、火災・感電の原因になります。
 包装用ポリ袋は幼児の手の届かない所に廃棄または保管すること	包装用ポリ袋は幼児の手の届かない所に廃棄または保管すること 頭からかぶるなどすると、口や、鼻を塞ぎ窒息する原因になります。

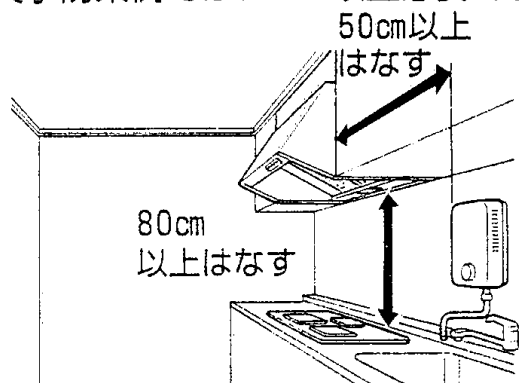
⚠ 注意

 確実に取りつける	前板、フィルターや部品は確実に取り付けること 落下により、けがをする原因になります。
 確実に取りつける	強度のある場所に、確実に取り付けること 落下により、けがをする原因になります。
 電気工事士が実施	電気工事・アース工事は、電気工事士(※)が行うこと 電気工事士以外の方が工事すると、火災・感電・けがの原因になります。 ※電気工事士への依頼は、お買上げの販売店、または電気工事店にご相談ください。
 使用禁止	浴室など湿気の多い場所では絶対に使わないこと (浴室用換気扇をお使いください) 感電および故障の原因になります。
 接触禁止	運転中は危険ですから羽根の中に指や物を入れないこと けがの原因になります。

お願い

ガスレンジの真上、80cm以上に取り付けてください。

火災予防条例では、80cm以上必要です。



湯沸器は、50cm以上横に離して取り付けてください。

50cm以下ですと、高温になり故障の原因になります。

取付工事は地域により、防災上での制限があります。

関連法規に従って施工してください。

詳しくは、所轄の消防署に問い合わせてください。

取付工事は手袋をして、おこなってください。

周囲温度が40℃以上になる場所、薬品を使う場所には取り付けないでください。

故障の原因になります。

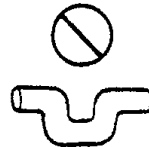
全体換気の必要な所は、他の換気扇との併用をおすすめします。

次のようなダクト工事はしないでください。

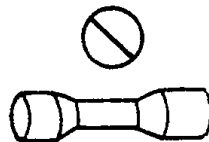
(1) 極端な曲げ



(2) 多数回の曲げ

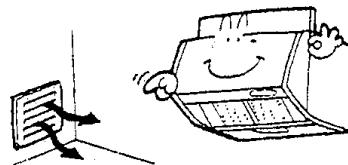


(3) 接続ダクト径を極端に小さくする

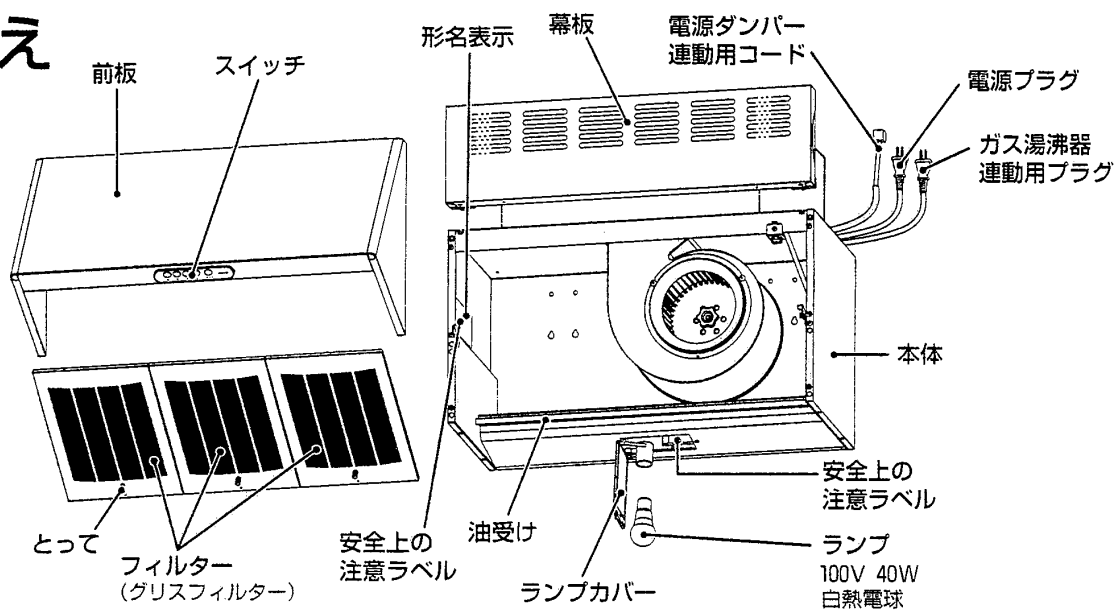


(4) 吐出口のすぐそばでの曲げ




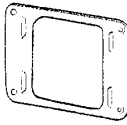



効率よく排気させるため空気の入入口を部屋の反対位置に設けてください。



各部のなまえ



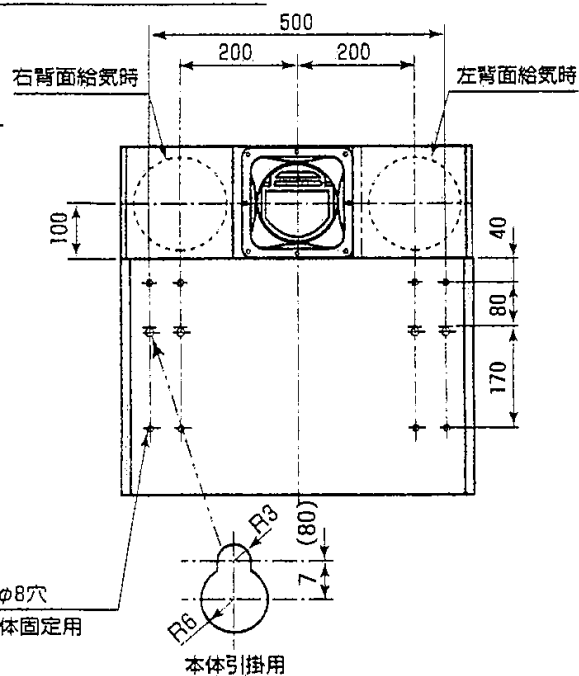
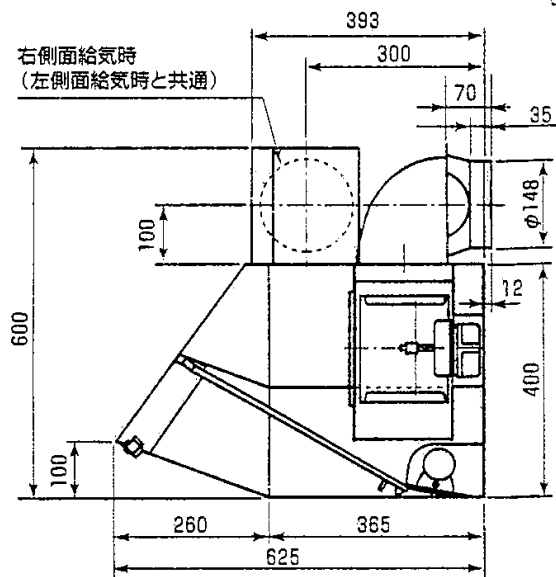
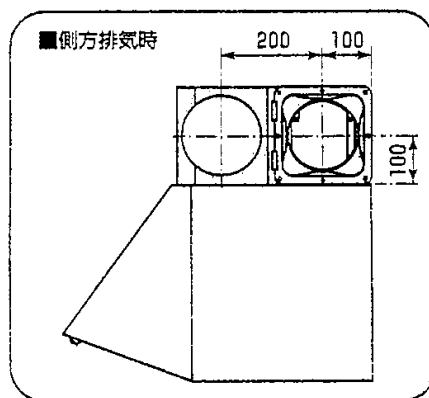
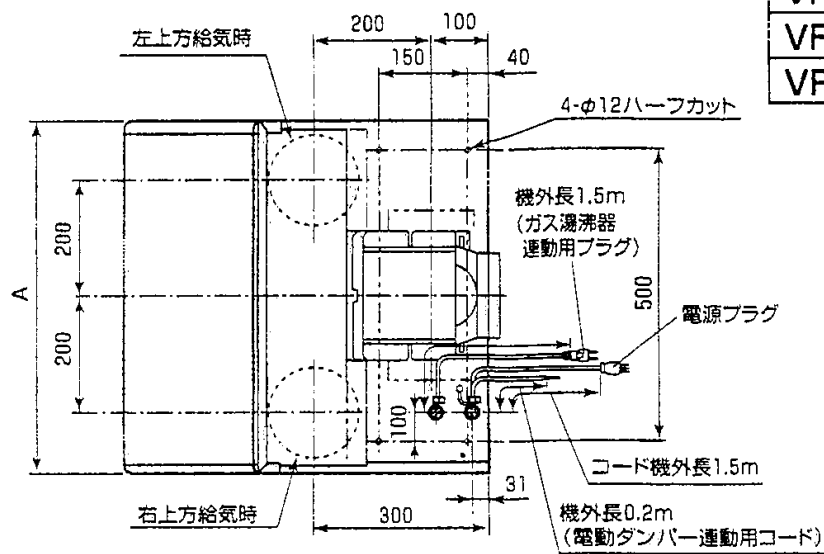
付属品

木ねじ(6本)	ねじ(6本)	ソフトテープ(3本)	側板	蝶ナット(2個)	蝶ボルト(2個)	ねじ(4本)
						
本体固定用	電動気密シャッター 固定用	排気口、給気口とダクト 及び排気口と側板との スキマふさぎ用	側方排気用	給気口固定用	給気ボックス 固定用	給気口固定用

製品寸法図

单位:mm

形 名	A寸法
VFR-64FJPA タイプ	600
VFR-74FJPA タイプ	750
VFR-94FJPA タイプ	900



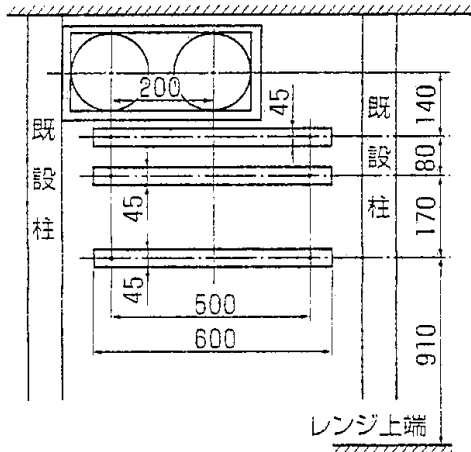
取付方法

取り付け前の準備

取付補強材の位置

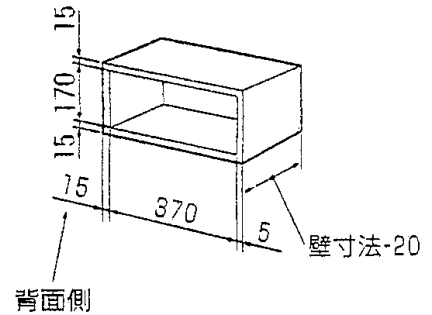
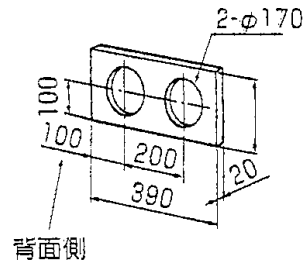
下図に木枠を必要とする場合の位置関係を示します。

(例:排気:後部、給気:左後部)



●後部給排気の木枠

(下記寸法にしないと、製品取付後、木枠が、幕板よりはみ出します。)



排気・給気方向の選択

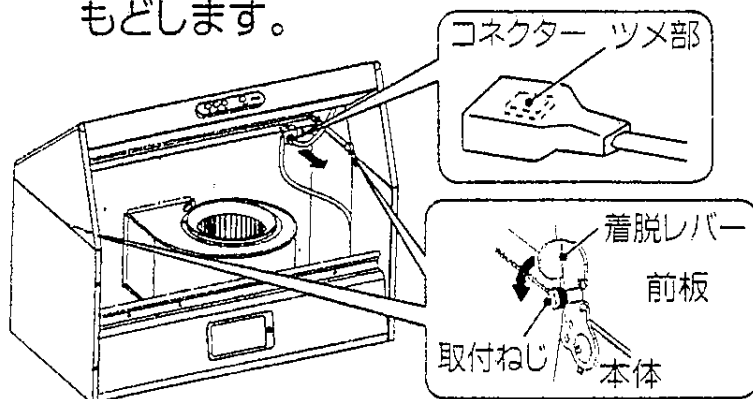
排気、給気方向を下図より選びます。

ダクト(φ150スパイラルダクト)を下図の位置に配管します。

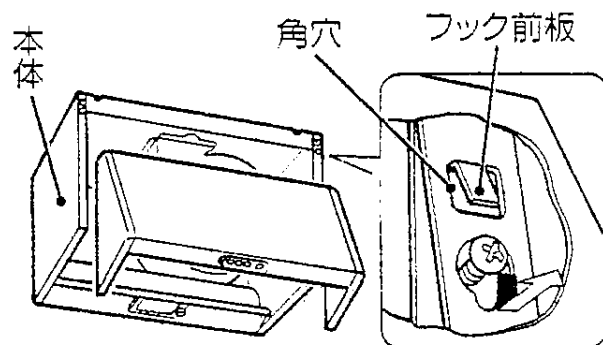
	後部排気	側方排気	上排気
左給気			
	後部排気	側方排気	上排気
右給気			

前板のはずし方

- (1) コネクターをはずします。ツメ部を押しながら手前に引きはずします。
- (2) 取付ねじ(左右2カ所)を4~5mmもどします。



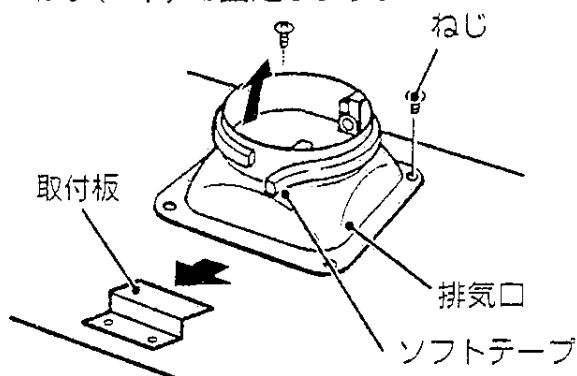
- (3) 着脱レバー(左右2カ所)を後方へ回します。
- (4) 前板を少し下げ、角穴をフックよりはずし、前へ引いてはずします。



排気部品の準備

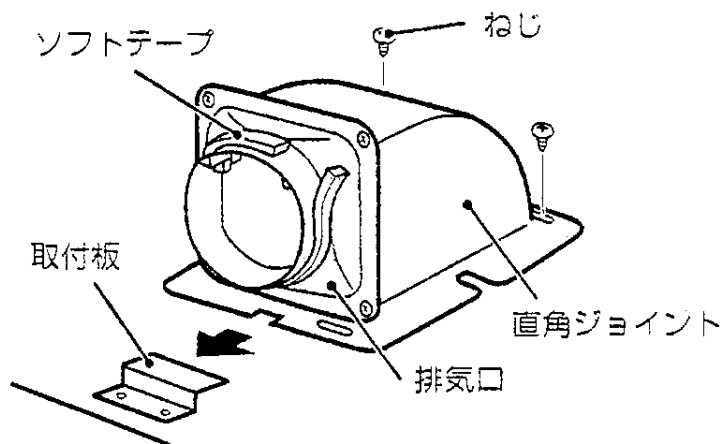
上排気の場合

- (1) ねじ(4本)をはずし、排気口をはずし、付属のソフトテープを貼ります。
- (2) 本体の取付板に、排気口を差し込み付属のねじ(2本)で固定します。



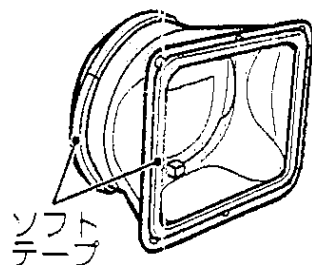
後部排気の場合

- (1) 排気口に付属のソフトテープを貼ります。
- (2) 本体の取付板に、直角ジョイントを差し込み付属のねじ(2本)で固定します。



右側排気の場合

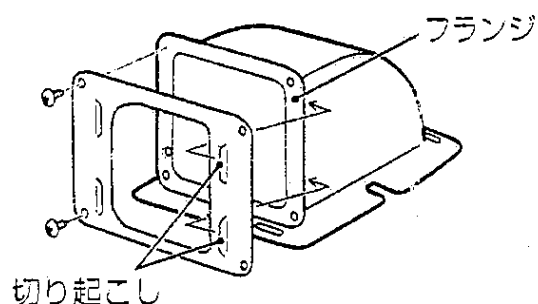
(1) ねじ(4本)をは
ずし、排気口を
直角ジョイント
よりはずします。



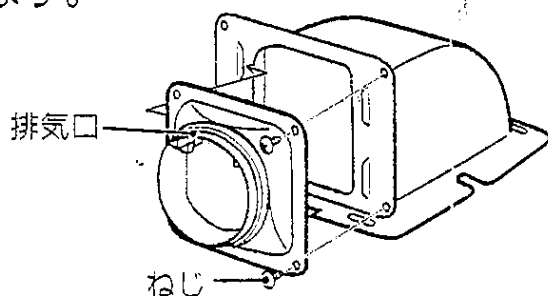
(2) 排気口に付属の
ソフトテープを2カ所貼
ります。

(3) 付属の側板を直角ジョイントに固定し
ます。

(フランジを切り起こしに差し込み)
ねじ(2本)で固定します。



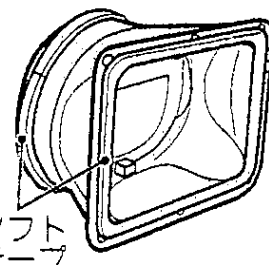
(4) 排気口を、直角ジョイントの切り起こ
しに差し込み、ねじ(2本)で、固定し
ます。



(5) 本体の取付板に、直角ジョイントを差
し込み付属のねじ(2本)で固定します。

左側排気の場合

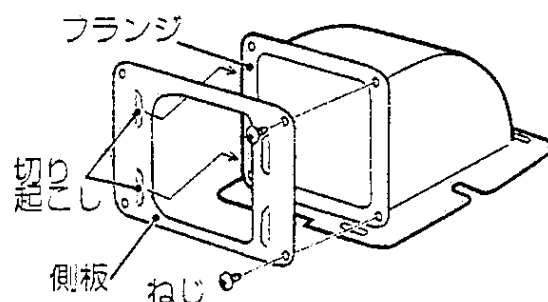
(1) ねじ(4本)をは
ずし、排気口を直角ジョイ
ントよりはずします。



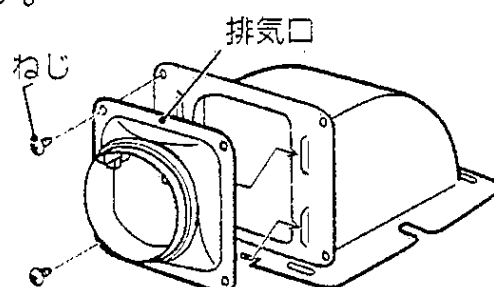
(2) 排気口に付属のソフ
トテープを2カ所貼
ります。

(3) 付属の側板を直角ジョイントに固定し
ます。

(フランジを切り起こしに差し込み)
ねじ(2本)で固定します。



(4) 排気口を、直角ジョイントの切り起こ
しに差し込み、ねじ(2本)で、固定し
ます。



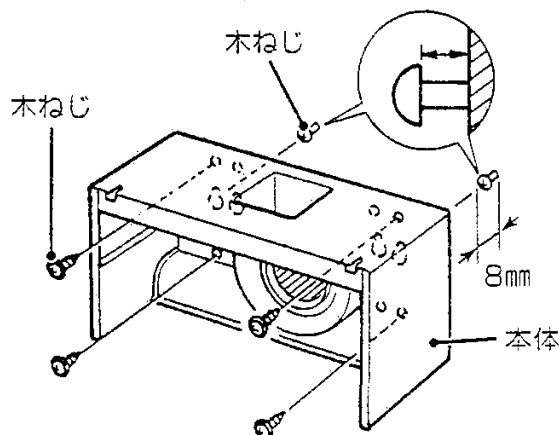
(5) 本体の取付板に、直角ジョイントを差
し込み付属のねじ(2本)で固定します。

本体の取り付け方

取り付けの前に取り付け部の強度をお確かめください。取り付け部が弱いと落下、振動、騒音の原因になります。

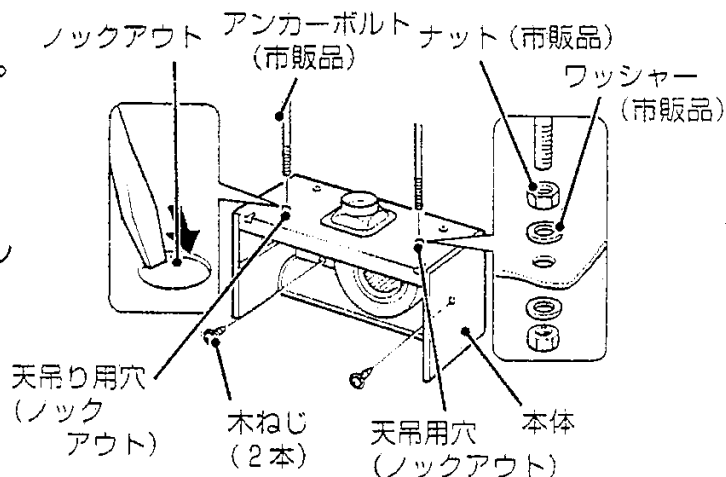
壁取り付けの場合

- (1) 製品寸法図を参照して、壁面に付属の木ねじ(2本)を仮取り付けします。
- (2) 本体を木ねじに引掛けます。
- (3) 本体内側より付属の木ねじ(4本)で固定します。



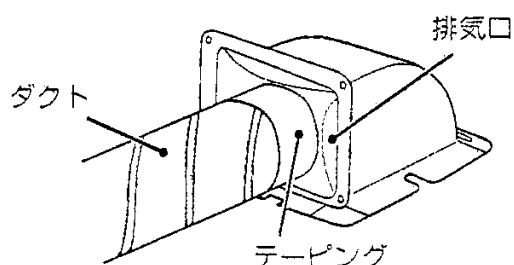
天井取り付けの場合 (給・排気方向により取り付けできない場合があります。)

- (1) 製品寸法図を参照して、天井にアンカーボルト(M10)を埋め込みます。
- (2) 本体の天吊り用穴(2カ所)のノックアウト部を打ち抜きます。
- (3) 市販のナット(M10)とワッシャー(M10用)にて、本体をアンカーボルトに固定します。
- (4) 本体内側より付属の座付き木ねじ(2本)で壁に本体を固定します。



ダクト(パイプ)の取り付け方

排気口にダクトを接続し、市販のアルミテープなどで、風漏れのないようテーピングします。

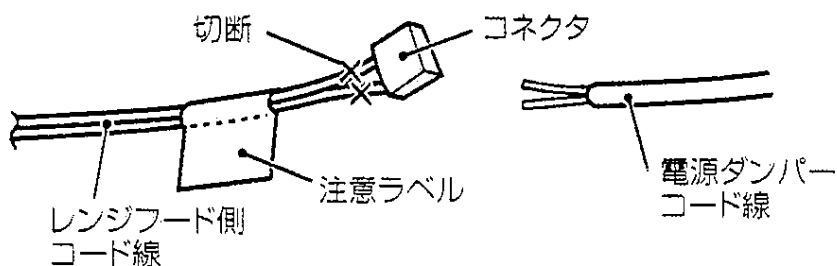


アースおよび電源の接続

- (1) 本体天面のアース端子を使用してアース工事します。
- (2) 電源プラグをコンセントに差し込みます。

電動ダンパーと連動する場合

- (1) 電動ダンパー (φ150用) の説明書に従い、排気ダクト、または給気ダクトに電動ダンパーを取りつけます。
- (2) レンジフード本体からでている電動ダンパー連動用コード線のコネクター首下部を切断して電動ダンパーのコード線と接続します。

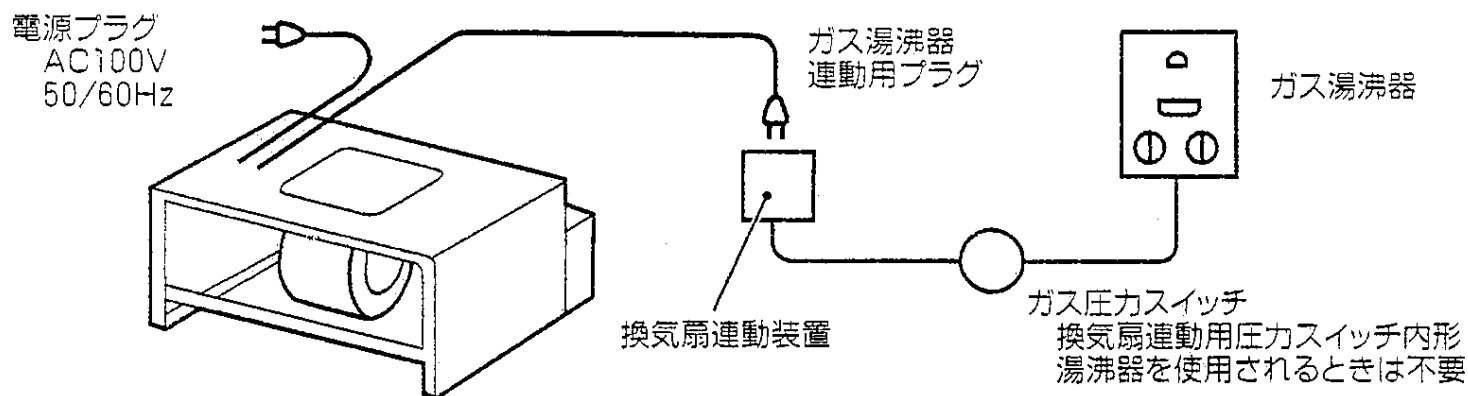


●電動ダンパーとレンジフードの関係

レンジフード	ON	OFF
電動ダンパー	ON	OFF
排気又は給気	有	無

ガス湯沸器と連動する場合

ガス湯沸器の換気扇連動装置の説明書により湯沸器と接続します。



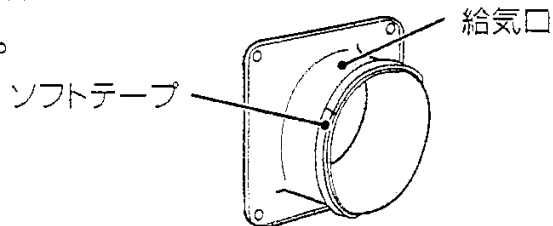
●ガス湯沸器とレンジフードの関係

ガス湯沸器	使用時	未使用時
組み合わせる時	レンジフードのスイッチ操作に関係なく「強」で運転	レンジフードのスイッチ操作に連動し、「強」「中」「弱」「切」が可能
組み合わせない時	レンジフードのスイッチ操作に連動し、「強」「中」「弱」「切」が可能	

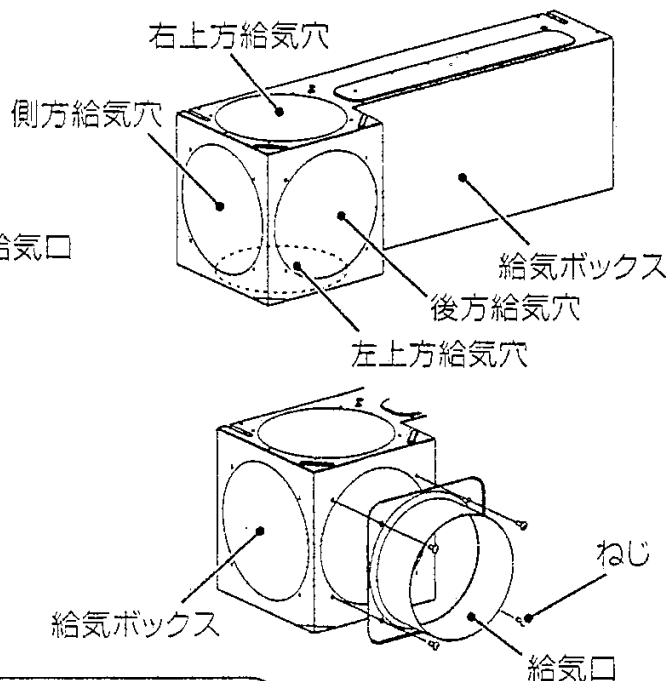
給気ボックスの取り付け方

給気ダクトの位置に合わせ給気穴を
木ハンマーなどであけます。

給気口に付属のソフトテープを
貼ります。



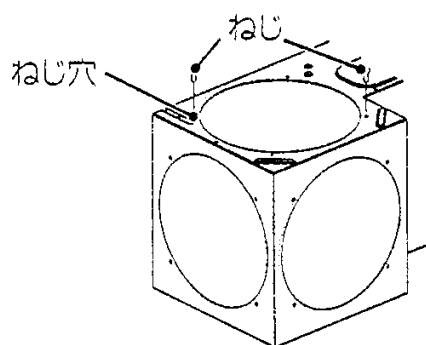
(1) 給気ボックスに給気口を
付属のねじ(4本)で固定します。



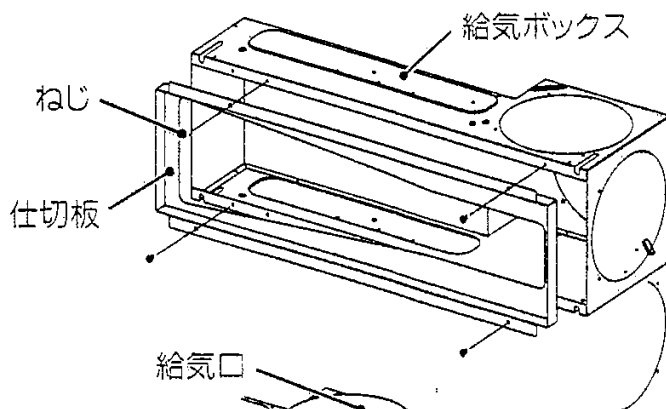
給気口が天井または壁にあたる場合

下記の手順により、給気口を給気ボックスの内側から取り付けてください。

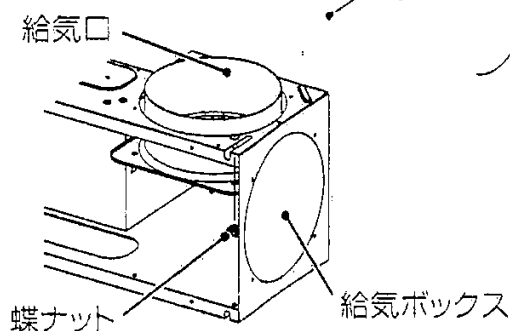
① 給気ボックスに付属のねじ
(2本)を固定します。



② 仕切板をはずします。

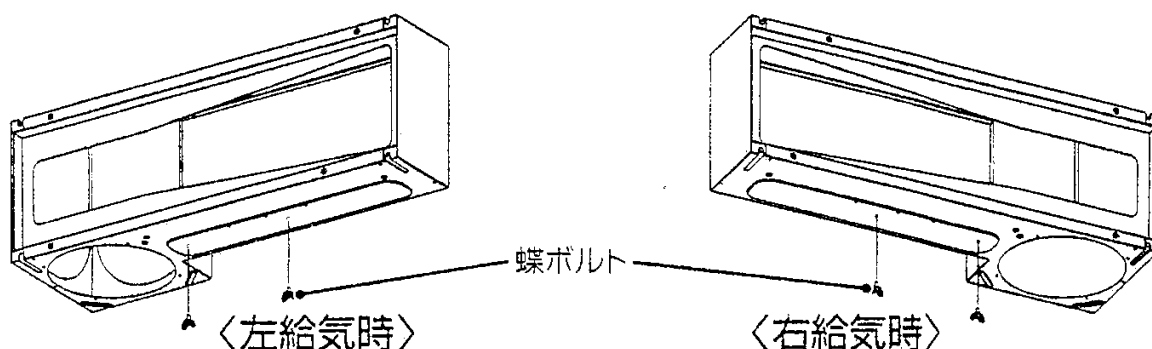


③ 給気口を給気ボックスの内側から
はめ込み、付属の蝶ナット(2個)
で固定します。

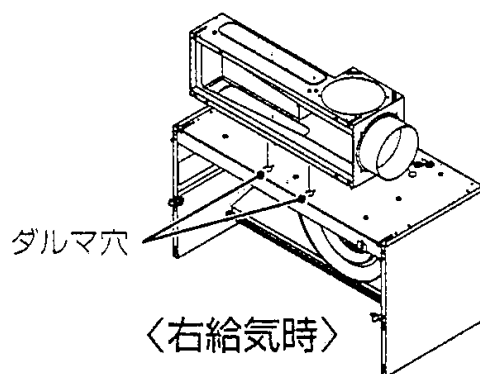
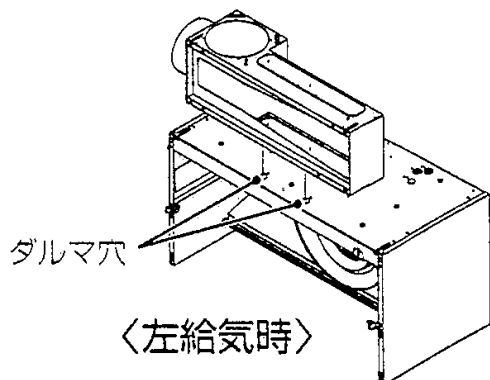


④ 仕切板を取り付けます。

(2) 給気ボックスに付属の蝶ボルト
(2個)を取り付けます。



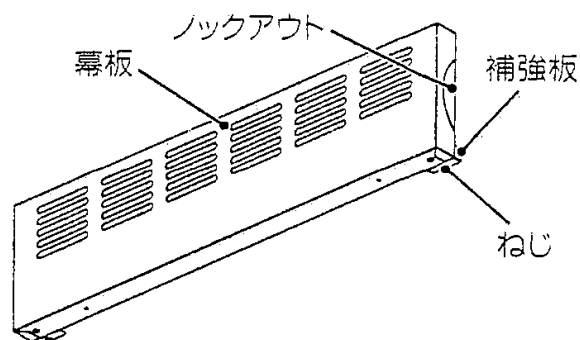
- (3) 給気ボックスの蝶ボルトを本体のダルマ穴に差し込み、後方へずらし、蝶ボルトを締め付けて固定します。



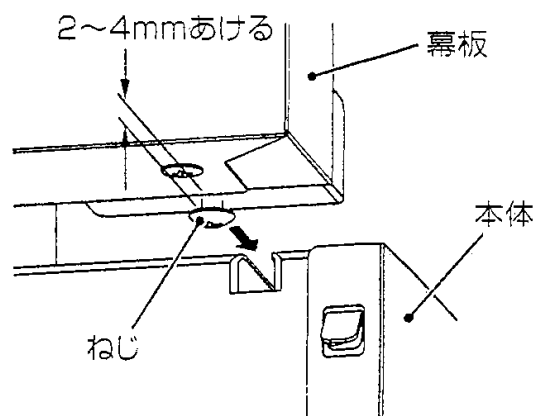
- (4) 給気口と給気ダクトを接続して、市販のアルミテープでテーピングします。

幕板の取り付け方

- (1) 側方給気の場合は幕板側面のノックアウトを取り除きます。



- (2) 幕板の補強板に固定しているねじ(2本)を2~4mmほどします。
 (3) 幕板を本体前面より差し込みます。
 (4) 本体下部よりドライバーでねじを締めて固定します。

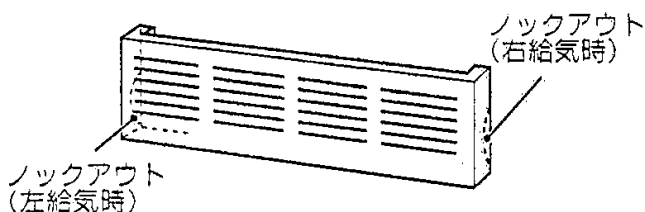


側方給排気にて、木枠が後部給排気用の場合

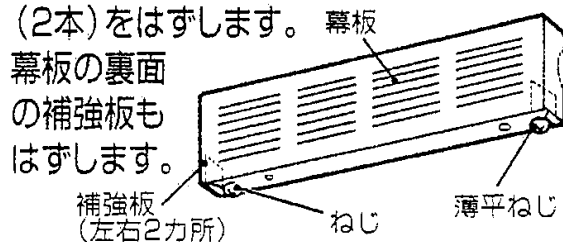
ご注意

横幕板を使用する場合は専用のRM-S 20YA(W),(K)をご使用してください。

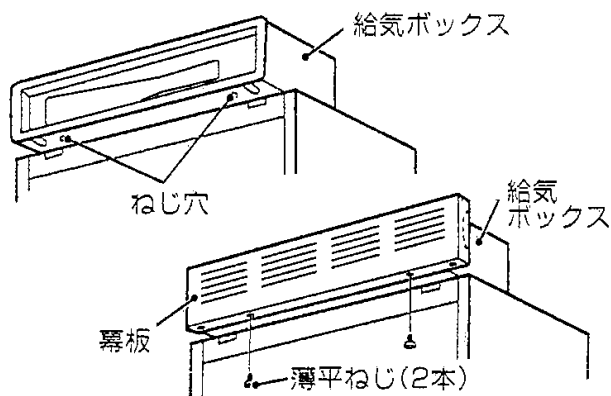
- (1) 幕板側面のノックアウトを取り除きます。



- (2) 幕板に固定しているねじ(2本)と薄平ねじ(2本)をはずします。幕板の裏面の補強板もはずします。



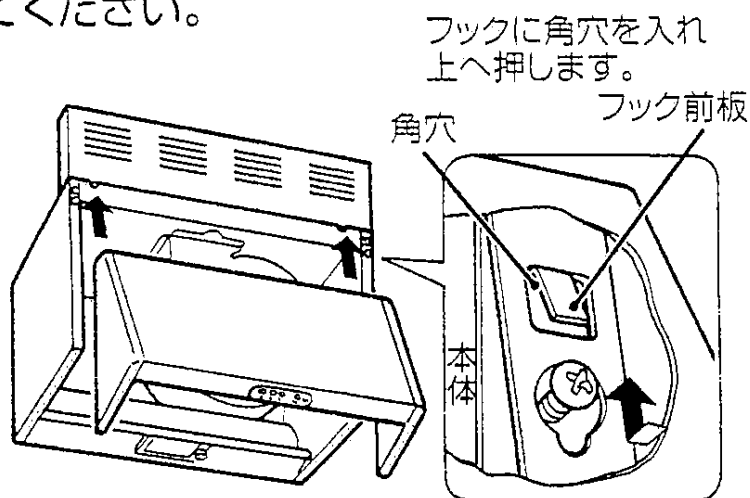
- (3) 給気ボックスのねじ穴を使用し、(2)項ではずした薄平ねじ(2本)で幕板を固定します。



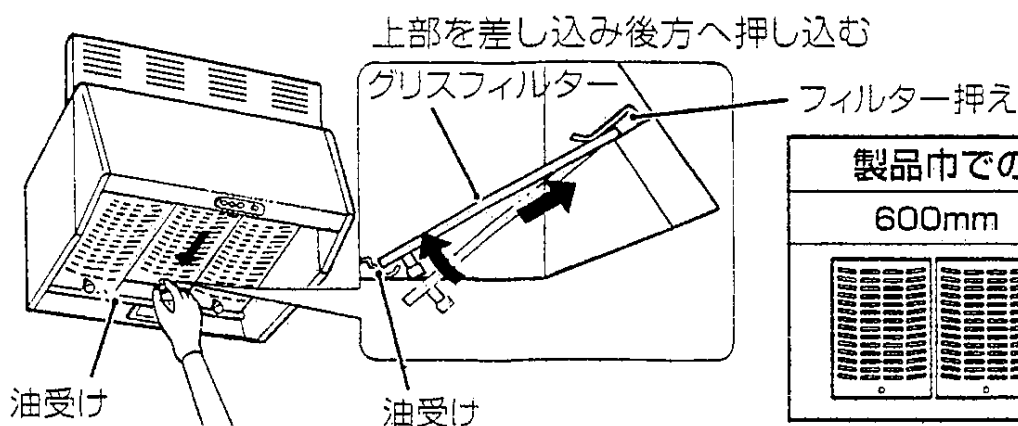
前板の取り付け方

前板のはずし方と逆の順序でおこなってください。

- (1) 前板の上部を本体へ差し込みます。
- (2) 前板を、前へ押し固定します。
- (3) 着脱レバー(左右2カ所)を前方に回し、取付ねじを確実に溝に入れます。
- (4) 取付ねじ(左右2カ所)をドライバーで締付けて固定します。
- (5) コネクターを取り付けます。
- (6) 手元へ、軽く引っ張り、前板の固定が確実か確かめます。抜けてこなければ完了です。



グリスフィルターの取り付け方



製品巾でのグリスフィルターの枚数

600mm	750, 900mm

試運転

以上で取り付け完了です。

つぎの点検をおこない、異常がないか確認してください。

- 製品の取付強度が十分なこと
- 運転したとき異常音、異常振動がないこと
- シャッターの開閉が正常なこと

ET9X408901